



山田高校で応急手当で講習 万が一に備え基礎技術を学ぶ

応急手当の正しい知識と技術を身に付けよう——。7月8日、県立山田高等学校（主濱幸彦校長・生徒267人）では、1年生93人が応急手当で法を学びました。救命意識を養うことを目的に行われたもので、山田消防署の救急救命士から心肺そ生法や止血法など、緊急時に救急車が到着するまでの救命手当の説明を受けました。その後、消防署員や町保健師らの指導で、クラスメートを相手に三角巾を用いて止血法などの実技が行われ、生徒は何度も繰り返して練習するなど真剣な眼差しで取り組んでいました。

山田
広報
また

No
799

今号の主な内容

後絶えない不法投棄
町長交際費と旅費・食糧費の執行状況
生涯学習だより

CONTENTS

2~3
4
6~7

7月15日号
2003